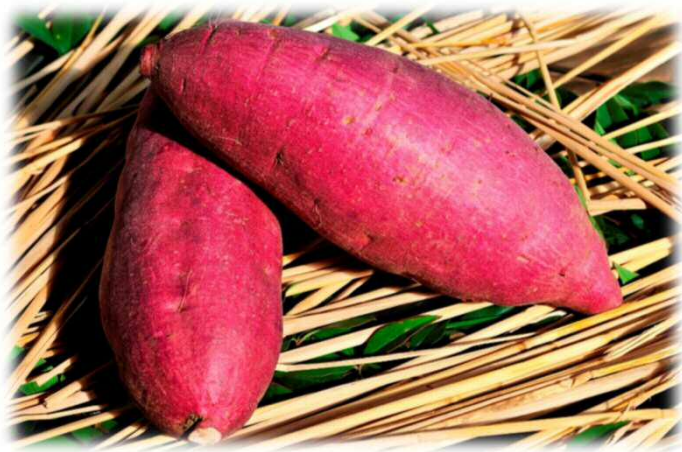


平成31年1月22日(火)

市長定例記者会見

# 見沼グリーンセンターがグローバルGAP認証を取得しました

さつまいも



見沼グリーンセンター、さつまいも圃場



経済局 農業政策部  
見沼グリーンセンター

# G A P とは？

「G A P」(Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理)とは農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。

## 《主なG A Pの種類》

- ・ 都道府県の取組んでいるG A P (埼玉県はS-G A P)
- ・ J G A P、A S I A G A P
- ・ グローバルG A P



# なぜ今GAPなのか

- ・ 消費者の食の安全・安心への意識の高まり
- ・ 農産物の取引要件としてのGAPを求められる傾向
- ・ 東京2020大会における食材調達基準



# G A P 取組みのメリット

## 《 G A P 取組みの 3 つの側面 》

食品安全  
(食べる人の安全)

環境保全  
(生活環境の安全)

労働安全  
(作る人の安全)



## 《 取組のメリット 》

### 農作業の安全やリスク管理

- ・ 農産物・作業の安全性の高まり
- ・ 農業経営のリスク低減

### 経営の改善

- ・ 作業の効率化
- ・ 農薬・肥料の無駄の減少

### 認証取得により販路拡大

- ・ 持続的な経営発展
- ・ 認証による信頼性の向上

# さいたま市の取組み



## 農業経営者等のGAP取得を支援

(さいたま市成長加速化戦略「地場産農産物の農商工連携やブランド化の推進」として位置付け)



特に、ヨーロッパ野菜等の更なる販路拡大に向けて、  
東京2020大会の食材調達基準ともなっているGAPの認証取得を支援



先行モデルとして、  
見沼グリーンセンターがグローバルGAP認証を取得

# 見沼グリーンセンターでは



- ・ 管理を行うための情報の整理・文書化
- ・ 農場内のリスク評価及び改善

農機具倉庫の整理整頓



手洗いの手順を明記

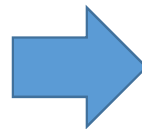
手洗い励行 ~作業前・トイレ後・飲食喫煙後~



各種記録簿の作成



市の特産物「さつまいも」の栽培で、  
グローバルGAP認証取得



販路拡大、収益増へつなげる



# さいたま市ではGAP認証の取得に係る コストの一部を支援

補助事業名： 第三者認証GAP取得支援事業

支援対象者： 農業経営者・農業経営者団体・農業協同組合  
支援内容

## ① GAP実践導入事業

- ・ 認証に必要な水質・土壌等の検査実施
- ・ GAP指導員等による農場点検
- ・ 認証に対応する備品設置や施設の改修など

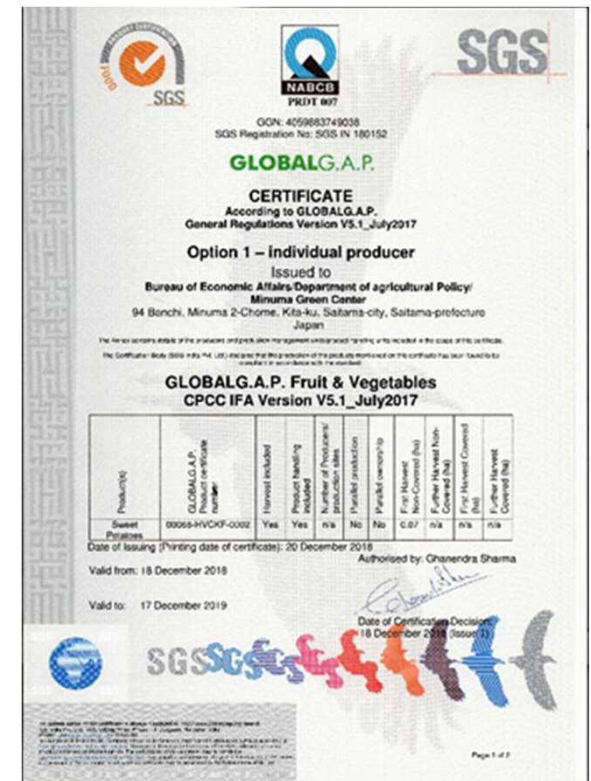
## ② GAP認証取得・継続事業

- ・ 審査機関によるGAP認証の農場審査等

## ③研修事業

- ・ GAP認証取得に係る研修会の受講・開催

補助率： 1 / 2 以内



# 今後の取組み

G A P の取組に向けた啓発や技術の習得を目的とした講習会等を開催。  
見沼グリーンセンターでのG A P 認証取得の経験を活かした研修会の実施。



地場産農産物の魅力を高め、農産物のブランド化を推進するため、  
G A P の取得支援を推進。  
⇒平成32年度末までに、G A P 認証取得農家数11件以上を目指す



**市内農産物への信頼性の向上・流通の販路拡大**